

平成28年度

事業報告書

ホームヘルプステーション清華園

居宅サービス事業

配食サービス事業

ふれあいホーム運営事業

社会福祉法人 民生博愛会

## 平成28年度事業実施内容

1. 居宅サービス事業（訪問介護）
2. 配食サービス事業（北斗市委託事業）
3. ふれあいホーム運営事業（北斗市委託事業）

### 1 居宅サービス事業

今年度実績、収入額25,322千円（前年比100.11%）、利用者延べ人数923人（前年比114.23%）、で収入額・利用延べ人数共に前年度を上回った。

年間の状況として、利用者数においては、要介護者の入院・施設入所する方が多くみられたが、新規利用者が30名あり前年を上回った。

収入においては、前年同様利用回数の多い方の施設入所や入院が多く、新規利用者の介護度が軽く利用回数の少ない利用者が増え、身体介護も減少したが、新規利用者数が増加した為、前年を上回ったと考えられる。

29年度については、利用者の生活状況を踏まえ、個々に合わせたサービス提供を行うことが出来るよう介護計画を理解する。更に介護予防訪問介護が、総合事業へと移行するため、自立支援や介護予防に繋がる知識と技術を習得していく必要がある。また、各居宅介護支援事業所や北斗市包括支援センターへの積極的な働きかけと連携を密にし、更なる新規利用者の増加に努める。

今後の課題として、新規利用者の拡大を計る為、人材の確保と人材流出を防ぎ、働きやすい職場環境を整える。また、年間研修計画に自立支援や予防介護に繋がる研修を組み込むことで、介護の技術と知識を高めると共に、専門性の高いサービスの提供を目指していく。

### 2 配食サービス事業

今年度実績、収入額6,332千円（前年比87.73%）、利用者延べ人数528人（前年比97.96%）、取扱食数7,036食（前年比87.73%）で利用者延べ人数・収入額・取り扱い食数は、全て下回った。

年間の状況として、新規依頼者は23件と前年より若干増えているが、期間を限定されている方や開始後すぐに終了される利用が多くみられた。新規利用者に安定して長期間で配食を利用される方が少なくなってきたのが現状である。また、高齢・体力低下により入所される方が増加していることも下回った要因と考えられる。

今後の事業展開として、北斗市及び北斗市包括支援センターとの連携を密にし、利用間口を広げていく働きかけや情報の共有を行いながら北斗市全域に拡大していくことが必要と考える。

### 3 ふれあいホーム運営事業

今年度実績、収入額790千円（前年比99.34%）、利用者延べ人数128人（前年比96.24%）で収入額及び利用者延べ人数は共に下回った。

年間の状況として、契約利用者数は前年同様だが、身体状況によりふれあいホームを利用せずデイサービス利用に変更する、また家族の都合による利用時間の短縮により下回った。

### 4 総括

職員体制について、訪問介護員（サービス提供責任者常勤2名・常勤4名・パート9名・配食専門員3名）合計18名の体制で事業を実施している。

29年度において事業拡大を図る為には、各居宅支援事業所や北斗市地域包括支援センターへの積極的な働きかけと連携を密にする。また、職員の確保を早急に行い新規利用者の拡大を確実にしていく。今後は、顧客のニーズに合った質の高いサービスを提供することにより、地域で必要とされる事業所を目指すことが重要であると考えられる。

#### 重点目標に対する反省

1. 利用者やその家族のニーズを把握し、各関係機関との連携を図りながらサービスの改善及び提供については、サービスに入っている職員が利用者本人及び家族のニーズを把握し、職員間での情報共有・各事業所との連携を取りサービス提供に努めている。
2. 居宅介護計画・訪問介護及び介護予防訪問介護計画に基づいたサービスの提供については、計画書の重要性や内容の理解はできてきているが、介護保険制度に対する理解不足が見られる為、研修や会議等を利用し理解を深めていく。また、情報の共有を行いサービス提供に努める。
3. 人権・処遇に重点を置き、職員の資質向上と人材育成に努めるについては、全ての研修を行う際に人権や処遇の視点から行うことで資質向上に努めることが出来た。

4. 可能な限り、利用者やその家族の急なサービス希望に迅速に対応するについては、時間帯や曜日の相談・変更をお願いすることはあったが、概ね、希望に添えていた。
5. 職員自らが感染源にならないよう、自己の健康管理の徹底と知識を習得し予防に努めることについては、インフルエンザ等で体調を崩した職員はいなく、毎年インフルエンザ、ノロウイルス等の感染予防について研修を実施している。また、訪問・配食サービス時に利用者に呼びかけることで、感染の予防に努めることもできた。
6. 平成29年度より北斗市における新しい総合事業への移行に対し、体制を整え柔軟な姿勢で取り組んでいくについては、北斗市の打ち合わせ等に参加していたが、詳細が決まっていないため、準備が遅れている。今後、状況に合わせてながら北斗市からの情報を基に対応できるよう体制を整えていく。